

事務事業評価票

所管部長等名	建設部長 船藏 満彦
所管課・係名	都市政策課 政策調整係
課長名	松本 浩二

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	公共事業再評価第三者委員会運営事務	「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名		
会計区分	一般会計			
予算の事業名	一般事務経費			
事業コード(大-中-小)	04 - 02 - 02	- - - - -		
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	市民と行政がともに歩むために		
	施策の大綱(節)【政策】	①効率的・効果的な行財政の経営		
	施策の展開(項)【施策】	①行政の効率化の推進		
	具体的な施策と内容	(1)適切な行政経営		
根拠法令、要綱等	国土交通省所管公共事業の再評価実施要領、八代市公共事業再評価規程、八代市公共事業再評価第三者委員会規定			
実施手法 (該当欄を●)	<input checked="" type="radio"/> 全部直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> その他()	法令による実施義務 (該当欄を●)		
		<input checked="" type="radio"/> 義務である <input type="radio"/> 義務ではない		
事業期間	開始年度	合併前	終了年度	未定

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を) ・事業採択後、長期間が経過している公共事業	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) ・事業採択後、長期間が経過している事業の評価を行い、事業の継続に当たり、必要に応じその見直しを行うほか、事業の継続が適当でない認められた場合には事業を中止するなど、継続的に公共事業の再評価を実施し、行政の透明性・効率性の確保に努める。
	内容 (手段、手法等)	・公共事業再評価第三者委員会の開催 国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき、八代市においては、「八代市公共事業再評価規程」を制定するとともに、学識経験者等の第三者から構成される「八代市公共事業再評価第三者委員会」を設置し、平成11年度に最初の委員会を開催した。以来、継続的に公共事業の再評価を実施し、行政の透明性・効率性の確保に努めている。	
事業開始時点からこれまでの状況変化等	・国においては、平成10年の建設事務次官通達で「建設省所管公共事業の再評価実施要領」に基づく公共事業の再評価を各地方公共団体において実施するよう要請している。八代市においても平成11年に公共事業再評価規程及び第三者委員会規程を定め、同年第1回目の第三者委員会を開催し、これまで該当する公共事業の再評価を継続して行っている。		

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	334	486	379	0	0	0	
	事業費(直接経費)	千円	54	66	99	0	0	0	
	財源内訳	国・県支出金	千円						
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円						
		その他()	千円						
	一般財源	千円	54	66	99				
概算人件費(正規職員)	千円	280	420	280	0	0	0		
	正規職員	人	0.04	0.06	0.04	0.00	0.00	0.00	
	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員等従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	① 委員会の開催	再評価を確実に実施する。	%	100	100	100	-	-	-
	② 反映率	再評価委員会の意見を踏まえ、事業計画に適切に反映させた。	%	100	100	100	-	-	-
<記述欄>※数値化できない場合 平成25年度以降は、しばらく委員会開催の予定なし。									

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A	(現状分析等) 事業採択後、長期間が経過している事業について、当該事業を取り 巻く諸情勢の変化を踏まえた第三者による評価を実施し、必要に 応じ事業の見直し等の検討を行っており、上位施策の「行政の効率 化の推進」に大きく貢献する重要な事業である。また、市の事業に対 して当事者である市が関与して第三者による再評価を受けること は、市民ニーズに合致し、その実施過程の透明性の一層の向上に 寄与している。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	A	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していませ んか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	A	
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	(現状分析等) 八代市公共事業再評価規程に基づく対象事業に対して、確実に開 催し、再評価が実施されていること。また、委員会の結果を真摯に受 け止め、事業計画の見直し等に適切な対応が図られていることから、 本委員会運営事務については、その内容を見直す余地はない。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A	(現状分析等) 本委員会の運営は、事業主体である市が市民(第三者)による再 評価を受けることに意義があり、コスト的にも実質的には委員会を開 催運営する最低限の人員費だけであり、民間委託の余地はない。ま た、過去の実績から対象事業が年間当たり0件から4件と少なく、これ までも極力案件をまとめて開催することで、人員費及び委員報酬等 の経費の軽減に努めている。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) ・公共事業に対する市民の目は厳しく、着手した事業を効率的に実施するとともに、その実施 過程の透明性を高め、説明責任を果たすためには欠くことのできない事務(委員会)である。																					
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 ・再評価により効果の少ない事業の中止を行うとともに、継続事業にあっても事業規模の 見直しやコスト縮減を引き続き行っていく。 ・評価内容、決定事項に関する市民への周知徹底および職員の見識や資質の向上を図る ことで、より一層の効率化及びその実施過程の透明性の向上を図る。	改革改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td align="center">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						

外部評価の実施	無	実施年度	
---------	---	------	--

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等) 無
--------------------------	-----------------